

令和2年度

事業計画書  
収支予算書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

令和2年度

# 事業計画書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

# 令和2年度事業計画書

自 令和2年 4月 1日  
至 令和3年 3月31日

本協会は、広く一般市民に乗馬を普及するために、関係機関の協力を得て令和2年度においては、次の事業を行う。

## I. 公益目的事業

### 1. 乗馬普及関係事業

#### (1) 馬とのふれあい推進事業

##### ① 大衆と馬とのふれあいタイム推進事業

一般市民が馬と触れあう機会を増加させることを目的として、乗馬施設等が行政機関、教育機関、地域社会団体等と連携して行う事業に対して、補助金を交付する。

##### ② 被災地支援等のための馬とのふれあい活動事業

激甚災害等被災地の子どもや地域住民を対象として、乗馬体験、引き馬体験等「馬とのふれあい」を提供する事業に補助金を交付する。

#### (2) 乗馬技能認定事業

##### ① 乗馬技能認定

乗馬愛好者の技術向上意欲を促進し、効率的で安全な指導を行うため、乗馬技能認定審査を行い、合格者に認定証を交付する。

##### ② ポニーライダー技能認定

中学生以下を対象として、馬との親和性を高めるため、また、乗馬技術の向上意欲を促進するため、ポニーを使った技能認定審査を行い、合格者に認定バッジを交付する。

#### (3) 普及乗馬大会事業

乗馬愛好者の技術の向上及び相互の交流を深めるため、全国普及乗馬大会を開催する。なお、この大会においては、ポニー並びに子どもの参加を奨励する。また、会員と共催して各地区においても普及乗馬大会を実施する。

#### (4) 乗用馬取扱講習会事業

乗馬普及を図るため、会員等の協力を得ながら一般市民並びに青少年を対象とした乗用馬の生態、飼育等の講習会を開催する。

#### (5) 乗馬普及広報事業

幅広く乗馬普及を図るため、日本語および英語にて乗馬に関する情報等をホームページに掲載するほか、様々な媒体を利用して広報に努める。なお、地区乗馬倶楽部振興会等で実施するふれあい事業や普及乗馬大会等を、地区乗馬倶楽部振興会のホームページや地域のマスコミでも積極的に広報するように依頼する。また、安全意識の周知のため、ホームページ上で情報発信を行うほか、乗馬安全マニュアルを講習会等で活用する。

#### (6) 乗馬活動保険推進事業

乗馬活動中に発生する様々なトラブルに対処するため、乗馬クラブが加入する保険に対して補助金を交付する。

#### (7) 引退競走馬等の馬の多様な利活用普及推進事業

##### ① 馬の多様な利活用を推進する講習会開催等事業

馬の利活用に携わる基礎知識や技術の取得を目指した講習会を開催する。

##### ② 障がい者乗馬・ホースセラピー活動等を支援するための事業

障がい者乗馬に関するガイドラインやインストラクター制度等、より安心できる取り組みを検討する。また、海外からの講師等を招聘し、技術や考え方等の情報提供を行う。

##### ③ 民間における引退競走馬の利活用促進等に関する事業

乗馬等での供用活発化に向けて、適切な環境等の確認、促進施策のあり方、また、引退競走馬等の養老・余生に関する諸施策のあり方等を整理、提言等を行う。

##### ④ 多様な馬の利活用等の取組を支援し、発展させるための事業

多様な馬の利活用に係る活動のうち、有用かつ規範的な取り組み、又は将来的に馬関連事業の参考となるような事例、馬産業の人材養成等に資するような取り組みを支援する。

## 2. 施設整備関係事業

### (1) 優良乗馬施設認定事業

利用者の安全や周辺環境等に配慮した施設の新設や改善を奨励するため、本協会が申請に応じて調査し、基準に適合する乗馬施設を優良乗馬施設として認定する。なお、社会情勢に応じた基準について検討する。

## 3. 乗用馬整備関係事業

### (1) 乗用馬防疫推進事業

乗用馬の保健衛生の充実を目的とし、本協会に登録している乗用馬について馬インフルエンザ、日本脳炎、破傷風の予防ワクチンを軽種馬防疫協議会が指定する要領に基づいて接種した馬に対して補助金を交付し、防疫体制の確立に努める。

### (2) 在来馬乗用化推進事業

日本の在来馬を有効活用することを目的として、在来馬を保存する団体と連携をとりながら、在来馬を乗用馬として馴致・調教できる者を養成するための講習会を実施する。また、調教された在来馬の活用を地域の行政等と協力して奨励する。

### (3) 国産乗用馬生産育成推進事業

市民に安全な乗用馬を提供するため、関係団体と連携して、国産乗用馬生産・育成を奨励し、育成・調教技術の普及を図る。

#### ・馬の流通に係る若手後継者の育成調教技術向上推進事業

地域において養成された指導的立場の人材を活用し、地域で生産された馬に対し、より付加価値を向上させるとともに、若手の後継者の育成を行う事業を実施する。

## 4. 乗馬指導者資格認定関係事業

一般市民に対して安全に乗馬指導を行える乗馬指導者の養成について下記の事業を行う。

### (1) 乗馬指導者養成講習会

乗馬指導者資格取得を目指す者を対象として養成講習会を開催する。

### (2) 乗馬指導者資格認定

乗馬指導者資格取得を目指す者を対象として、乗馬愛好者を安全に指導できる知識、技術について乗馬指導者資格認定試験を行い、合格者に認定証を交付する。

なお、この審査を行う乗馬指導者資格審査委員を対象として、実技試験の審査眼

の統一を図るための研修会、試験問題内容の検討会及び乗馬指導者資格認定試験の際に記録された採点表に基づき試験委員による合否判定会議を行う。

### (3) 乗馬指導者巡回指導

乗馬指導者資格を有している者を対象として騎乗・調教・指導技術の向上を図るため、地区乗馬倶楽部振興会等を単位として講師を派遣し、技術指導を行う。

### (4) 乗馬指導者競技会

乗馬指導者資格を有している者を対象として騎乗・調教技術の向上を図るため、全国及び地域において乗馬指導者競技会を開催する。なお、この競技会に国産乗用馬及び乗用馬に転用された競走馬の出場を奨励する。

### (5) 乗馬指導者更新講習会

乗馬指導者資格を有している者を対象として乗馬指導の知識等のレベルアップを図るための講習会を開催する。また、会員が同講習会を開催する場合は、講師の派遣等の支援を行う。

## II. その他の事業

### 1. 乗馬施設・乗用馬・乗馬指導者の登録

本協会の事業に賛同する乗馬施設、及び同乗馬施設において繋養されている普及用乗用馬、また、乗馬指導者の登録を行う。

### 2. 施設整備関係の事業

#### (1) 乗馬施設再貸付事業

乗馬施設が乗馬普及に必要なトラクター等の動産を整備する場合に、適正な審査のうえ（公財）畜産近代化リース協会から本協会がこれらを借り受けて、乗馬施設に再貸付を行う。

#### (2) 乗馬施設利子補給事業

乗馬施設が借入金で新規に厩舎等の不動産を整備する場合に、適正な審査のうえ借入金に対する利子の一部を補給する。ただし、平成20年度から新規の応募は受け付けていない。

令和 2 年度

# 収支予算書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

令和2年度収支予算書(損益ベース)

令和2年4月1日から令和3年3月31日

科目	予算額	前年度	増減	備考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
特定資産運用益	19,000	19,000	0	
特定預金受取利息収益	19,000	19,000	0	
受取入会金及び会費	3,150,000	3,150,000	0	
入会金及び会員会費	3,150,000	3,150,000	0	
事業収益	102,729,000	102,126,000	603,000	
登録料収益	44,560,000	45,060,000	-500,000	
指導者資格認定試験料収益	3,154,000	3,109,000	45,000	
乗馬技能認定料収益	46,640,000	45,792,000	848,000	
再貸付事務手数料収益	2,090,000	2,052,000	38,000	
資格認定テキスト収益	6,285,000	6,113,000	172,000	
受取補助金等	617,579,000	413,241,000	204,338,000	
乗馬普及事業助成金	614,429,000	410,091,000	204,338,000	
内国産馬生産奨励事業助成金	3,150,000	3,150,000	0	
雑収益	23,000	23,000	0	
受取利息収益	23,000	23,000	0	
<b>経常収益計</b>	<b>723,500,000</b>	<b>518,559,000</b>	<b>204,941,000</b>	
<b>(2) 経常費用</b>				
事業費	711,280,000	503,214,000	208,066,000	
役員報酬	5,377,000	6,663,000	-1,286,000	
給与手当	52,954,000	52,299,000	655,000	
社会保険料	10,232,000	9,535,000	697,000	
福利厚生費	770,000	770,000	0	
馬とのふれあい補助費	50,281,000	31,778,000	18,503,000	
乗用馬保健衛生補助費	36,857,000	37,248,000	-391,000	
乗馬施設整備補助費	349,760,000	199,760,000	150,000,000	
競技会奨励費及び賞品費	28,623,000	13,623,000	15,000,000	
会議及び講習会費	34,600,000	31,934,000	2,666,000	
旅費交通費	79,873,000	66,621,000	13,252,000	
従事員賃金	5,850,000	4,895,000	955,000	
広報費	11,482,000	10,968,000	514,000	
備品及び借料費	9,389,000	8,977,000	412,000	
減価償却費	2,329,000	390,000	1,939,000	
消耗品費	1,333,000	1,198,000	135,000	
図書印刷製本費	11,709,000	7,931,000	3,778,000	
通信費	3,579,000	3,340,000	239,000	
光熱及び水料	594,000	594,000	0	
役務費	4,548,000	4,538,000	10,000	
租税公課	3,980,000	3,630,000	350,000	
雑費	3,061,000	2,373,000	688,000	
退職給付費用	3,946,000	3,951,000	-5,000	
賞与引当金繰入	153,000	198,000	-45,000	
管理費	12,378,000	12,205,000	173,000	
役員報酬	597,000	741,000	-144,000	
給与手当	5,884,000	5,812,000	72,000	
社会保険料	1,137,000	1,060,000	77,000	
福利厚生費	86,000	86,000	0	
会議及び講習会費	208,000	208,000	0	



科目	予算額	前年度	増減	備考
旅費交通費	1,679,000	1,656,000	23,000	
従事員賃金	246,000	145,000	101,000	
備品及び借料費	953,000	905,000	48,000	
減価償却費	35,000	34,000	1,000	
消耗品費	60,000	60,000	0	
図書印刷製本費	137,000	137,000	0	
通信費	300,000	300,000	0	
光熱及び水料	66,000	66,000	0	
役務費	348,000	348,000	0	
租税公課	20,000	20,000	0	
雑費	166,000	166,000	0	
退職給付費用	439,000	439,000	0	
賞与引当金繰入	17,000	22,000	-5,000	
<b>経常費用計</b>	<b>723,658,000</b>	<b>515,419,000</b>	<b>208,239,000</b>	
<b>評価損益等調整前当期経常増減額</b>	<b>-158,000</b>	<b>3,140,000</b>	<b>-3,298,000</b>	
基本財産評価損益	0	0	0	
特定資産評価損益	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
<b>評価損益等計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>-158,000</b>	<b>3,140,000</b>	<b>-3,298,000</b>	
<b>2. 経常外増減の部</b>				
<b>(1) 経常外収益</b>				
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>(2) 経常外費用</b>				
雑費	5,000,000	0	5,000,000	
雑費	5,000,000	0	5,000,000	
<b>経常外費用計</b>	<b>5,000,000</b>	<b>0</b>	<b>5,000,000</b>	
<b>当期経常外増減額</b>	<b>-5,000,000</b>	<b>0</b>	<b>-5,000,000</b>	
<b>他会計振替額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>-5,158,000</b>	<b>3,140,000</b>	<b>-8,298,000</b>	
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>206,000,000</b>	<b>186,000,000</b>	<b>20,000,000</b>	
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>200,842,000</b>	<b>189,140,000</b>	<b>11,702,000</b>	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>指定正味財産期首残高</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>指定正味財産期末残高</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>200,842,000</b>	<b>189,140,000</b>	<b>11,702,000</b>	

(注) 1 借入金限度額 20,000,000円  
2 債務負債額 0円

令和2年度収支予算書(損益ベース)内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	合計	備考
	乗馬普及事業	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設 活性化支援事業	共通					
					乗馬施設等 登録事業	乗馬施設 活性化支援事業				
<b>I 一般正味財産増減の部</b>										
<b>1. 経常増減の部</b>										
(1) 経常収益										
特定資産運用益	6,000	6,000	1,000	8,000	0	9,000	4,000	19,000		
特定預金受取利息収益	6,000	6,000	1,000	8,000	0	9,000	4,000	19,000		
受取入金及び会費	1,575,000	1,575,000	0	0	0	0	1,575,000	3,150,000		
入会金及び会費	1,575,000	1,575,000	0	0	0	0	1,575,000	3,150,000		
事業収益	56,079,000	56,079,000	44,560,000	2,090,000	0	46,650,000	0	102,729,000		
登録料収益	0	0	44,560,000	0	0	44,560,000	0	44,560,000		
指導者資格認定試験料収益	3,154,000	3,154,000	0	0	0	0	0	3,154,000		
乗馬技能認定料収益	46,640,000	46,640,000	0	0	0	0	0	46,640,000		
再貸付事務手数料収益	0	0	0	2,090,000	0	2,090,000	0	2,090,000		
資格認定テキスト収益	6,285,000	6,285,000	0	0	0	0	0	6,285,000		
受取補助金等	606,662,000	606,662,000	3,032,000	1,819,000	0	4,851,000	6,066,000	617,579,000		
乗馬普及事業助成金	603,512,000	603,512,000	3,032,000	1,819,000	0	4,851,000	6,066,000	614,429,000		
内国産馬生産奨励事業助成金	3,150,000	3,150,000	0	0	0	0	0	3,150,000		
雑収益	12,000	12,000	1,000	8,000	0	9,000	2,000	23,000		
受取利息収益	12,000	12,000	1,000	8,000	0	9,000	2,000	23,000		
<b>経常収益計</b>	<b>664,334,000</b>	<b>664,334,000</b>	<b>47,594,000</b>	<b>3,925,000</b>	<b>0</b>	<b>51,519,000</b>	<b>7,647,000</b>	<b>723,500,000</b>		
(2) 経常費用										
事業費	700,107,000	700,107,000	7,873,000	3,300,000	0	11,173,000	—	711,280,000		
役員報酬	4,899,000	4,899,000	298,000	180,000	0	478,000	—	5,377,000		
給与手当	48,247,000	48,247,000	2,942,000	1,765,000	0	4,707,000	—	52,954,000		
社会保険料	9,323,000	9,323,000	568,000	341,000	0	909,000	—	10,232,000		
福利厚生費	702,000	702,000	43,000	25,000	0	68,000	—	770,000		
馬とのふれあい補助費	50,281,000	50,281,000	0	0	0	0	—	50,281,000		
乗用馬保健衛生補助費	36,857,000	36,857,000	0	0	0	0	—	36,857,000		
乗馬施設整備補助費	349,760,000	349,760,000	0	0	0	0	—	349,760,000		
競技会奨励費及び賞品費	28,623,000	28,623,000	0	0	0	0	—	28,623,000		
会議及び講習会費	34,581,000	34,581,000	12,000	7,000	0	19,000	—	34,600,000		
旅費交通費	78,450,000	78,450,000	1,317,000	106,000	0	1,423,000	—	79,873,000		
従事員賃金	5,163,000	5,163,000	614,000	73,000	0	687,000	—	5,850,000		
広報費	11,482,000	11,482,000	0	0	0	0	—	11,482,000		
備品及び借料費	8,626,000	8,626,000	477,000	286,000	0	763,000	—	9,389,000		
減価償却費	2,300,000	2,300,000	18,000	11,000	0	29,000	—	2,329,000		
消耗品費	1,285,000	1,285,000	30,000	18,000	0	48,000	—	1,333,000		
図書印刷製本費	10,801,000	10,801,000	876,000	32,000	0	908,000	—	11,709,000		
通信費	3,339,000	3,339,000	150,000	90,000	0	240,000	—	3,579,000		
光熱及び水料	541,000	541,000	33,000	20,000	0	53,000	—	594,000		
役員費	4,270,000	4,270,000	174,000	104,000	0	278,000	—	4,548,000		
租税公課	3,964,000	3,964,000	10,000	6,000	0	16,000	—	3,980,000		
雑費	2,878,000	2,878,000	83,000	100,000	0	183,000	—	3,061,000		
退職給付費用	3,596,000	3,596,000	219,000	131,000	0	350,000	—	3,946,000		
賞与引当金繰入	139,000	139,000	9,000	5,000	0	14,000	—	153,000		

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	合計	備考
	乗馬普及事業		乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性化 支援事業	共通					
	小計	小計			共通	小計				
管理費	-	-	-	-	-	-	12,378,000	12,378,000		
役員報酬	-	-	-	-	-	-	597,000	597,000		
給与手当	-	-	-	-	-	-	5,884,000	5,884,000		
社会保険料	-	-	-	-	-	-	1,137,000	1,137,000		
福利厚生費	-	-	-	-	-	-	86,000	86,000		
会議及び講習会費	-	-	-	-	-	-	208,000	208,000		
旅費交通費	-	-	-	-	-	-	1,679,000	1,679,000		
従事員賃金	-	-	-	-	-	-	246,000	246,000		
備品及び借料費	-	-	-	-	-	-	953,000	953,000		
減価償却費	-	-	-	-	-	-	35,000	35,000		
消耗品費	-	-	-	-	-	-	60,000	60,000		
図書印刷製本費	-	-	-	-	-	-	137,000	137,000		
通信費	-	-	-	-	-	-	300,000	300,000		
光熱及び水料	-	-	-	-	-	-	66,000	66,000		
役員費	-	-	-	-	-	-	348,000	348,000		
租税公課	-	-	-	-	-	-	20,000	20,000		
雑費	-	-	-	-	-	-	166,000	166,000		
退職給付費用	-	-	-	-	-	-	439,000	439,000		
賞与引当金繰入	-	-	-	-	-	-	17,000	17,000		
<b>経常費用計</b>	700,107,000	700,107,000	7,873,000	3,300,000	0	0	12,378,000	723,658,000		
<b>評価損益等調整前当期経常増減額</b>	-35,773,000	-35,773,000	39,721,000	625,000	0	0	-4,731,000	-158,000		
基本財産評価損益	0	0	0	0	0	0	0	0		
特定資産評価損益	0	0	0	0	0	0	0	0		
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0		
<b>評価損益等計</b>	0	0	0	0	0	0	0	0		
<b>当期経常増減額</b>	-35,773,000	-35,773,000	39,721,000	625,000	0	0	-4,731,000	-158,000		
<b>2. 経常外増減の部</b>										
<b>経常外収益計</b>	0	0	0	0	0	0	0	0		
<b>(2) 経常外費用</b>										
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0		
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0		
<b>経常外費用計</b>	0	0	0	0	0	0	0	0		
<b>当期経常外増減額</b>	0	0	0	0	0	0	0	0		
<b>他会計振替額</b>	33,000,000	33,000,000	-33,000,000	-1,045,000	0	0	1,045,000	-5,000,000		
<b>当期正味財産増減額</b>	-2,773,000	-2,773,000	6,721,000	-420,000	0	0	-8,686,000	-5,158,000		
<b>一般正味財産期首残高</b>	12,000,000	12,000,000	113,000,000	43,000,000	0	0	38,000,000	206,000,000		
<b>一般正味財産期末残高</b>	9,227,000	9,227,000	119,721,000	42,580,000	0	0	29,314,000	200,842,000		
<b>II 指定正味財産増減の部</b>										
<b>当期指定正味財産増減額</b>	0	0	0	0	0	0	0	0		
<b>指定正味財産期首残高</b>	0	0	0	0	0	0	0	0		
<b>指定正味財産期末残高</b>	0	0	0	0	0	0	0	0		
<b>III 正味財産期末残高</b>	9,227,000	9,227,000	119,721,000	42,580,000	0	0	29,314,000	200,842,000		